平成27年度 進路だより

Frontier Spirit!

J Hirata

第 2 号
H27.05.21
文責：﨑田

△講演中の黒岩禅氏(本校体育館)

＜4・29進路講演会「子どもを導くために必要な3つの習慣＞

４月 29 日(水)、午前中の全校ＰＴＡ行事を終えて昼食の後、13 時 30 分から進路講演会を開催しました。保護者の皆様と本校教職員、約 200 名が参加したこの講演会は、保護者席の前列に空席があったのをみた講師の黒岩禅氏が発した次の言葉で始まりました。

「本当に子どものためになることって何でしょう。積極的と消極的、明るいと暗い、…お父さん、お母さん…、お子さんにはどちらになってほしいですか。積極的で明るく…。…多くの人が望んでいるはずなのに、お子さんが思いどおりに育たない…なぜでしょう。それは大人がしないから…。」

講演の内容をここで文章にすることは差し控えます。

ただ黒岩氏の、和やかな中にも芯を突く言葉の前に、最前列の空席は間もなく埋まりました。そして…、我々が“笑い”、ときに“涙”を誘われながら、黒岩氏の言葉に聞き入ったことは言うまでもありません。

講演時間は１時間半でしたが、我々は時間が経つのも忘れていました。

黒岩氏の話の端々には、我々自身が人として忘れがちなこと、本当に大切なことを思い出すためのきっかけが散りばめられていました。生徒にも「ぜひ聞かせたい」と思える機会でした。おそらく保護者の皆様も同様の感想をお持ちいただけたのではないかと思っています。

あの日の夜は、各家庭でどのような親子の会話があったでしょう。

＜大健闘「逓(あっぱれ)!!」…第67回県高校総合体育大会＞

甲府南高校“男子総合８位・女子総合８位”

ゴールデンウィークが明けてから１週間が経った**５月13日(水)、小瀬スポーツ公園陸上競技場をメイン会場に第67回山梨県高等学校総合体育大会が開催**されました。前日には台風６号の進路を危ぶむ声もありましたが、当日の朝はそのことを忘れるような澄み切った青空が広がり、各競技会場で高校生の熱い戦いが繰り広げられました。

おそらく各学年通信にも大会について触れる記事があると思いますが、大会３日目には**「男子総合８位」「女子総合８位」の報**が本校にもたらされたことは喜びに堪えません。

入賞には一歩届かなかったものの、本校選手の奮闘には目を見張るものがありました。その健闘を心から讃えたいと思います。タイトルに記した「逓」は今から３年前の緑陽祭のテーマでした。之繞（しんにょう）には「走る」という意味があると記憶していますが、「南が走る」というこの文字を思い出す数日間でした。**各チームを率いた３年生はもちろん、様々なかたちでこの大会に関わった全ての人々に、「お疲れさま」の言葉を贈ります。**

６月の進路関係行事

１(月)	就職公務員説明会③
５(金)	大学出張講義③
６(土)	進研マーク模試③ ［～７(日)］
12(金)	ネットモラル教室①
22(月)	６月 27 日分代休
27(土)	第 51 回緑陽祭 ［～29(月)］
30(火)	６月 28 日分代休

７月の進路関係行事

１(水)	定期試験時間割発表
３(金)	進路講演会③ 奨学金説明会
８(水)	第２回定期試験 ［～10(金)］
11(土)	進研記述模試①②③ ［③は～12(日)］
13(月)	７月 18 日分代休
14(火)	月曜日の 40 分授業
17(金)	進路講演会①② 小論文ガイダンス③
18(土)	公開授業③ 保護者懇談会③ 小論文課外③
20(月)	海の日
24(金)	終業式、大掃除 全統マーク模試③ ［～25(土)］ 三者懇談期間①②③ ［～31(金)］

※○数字は学年を示します

<5・15スタディサポート結果報告会→学習のリズムをつくろう!!>

５月 15 日(金)の６校時には視聴覚室で第３学年生徒に対して、７校時には体育館で第１学年・第２学年生徒に対してスタディサポート結果報告会を開きました。

当日は Benesse 学校本部首都圏営業課営業グループリーダーの服部健治氏をお迎えして、**４月初旬に行ったスタディサポートの結果を分析するとともに、各学年生徒に「Ｐ(plan)→Ｄ(do)→Ｃ(check)→Ａ(action)サイクル」による学習に対する望むべき姿が語られました。**

時間は 45 分ずつと限られたものでしたが、**データをもとに各自が自らの立ち位置を改めて見つめ、これからの展望を抱いた**ことと思います。５月 27 日(水)からの３日間では第１回定期試験が実施されますが、ぜひ計画的に学習のリズムをつくり、それぞれが抱く「なりたい自分」になるための努力を尽くしてくれることを期待しています。

＜南高生に読んでもらいたい一冊＞

左に示したのは杉森久英著『天皇の料理番』(集英社文庫．1982)の復刻版です。４月下旬からＴＢＳ系(日曜日・21 時)で同名のドラマ(主演：佐藤健)が放映されています。大正期から昭和にかけて宮内省(現在の宮内庁)主厨長を務め、日本の西洋料理普及に大きな足跡を残した秋山徳蔵(1888 ～ 1974)をモデルにした小説です。小説ですので脚色もされていますが、福井県の裕福な家に生まれた破天荒な若者が、料理と出会って人間として成長していく様が描かれています。**人生を面白くするのもつまらなくするのも自分次第、…この作品では、「ホンモノに賭ける執念」が「主人公の人間臭さ」とともに描写されています。**

…料理の世界では、技術の秘密は教えたり教わったりするものではなく、知っている者はこれを隠し、知りたい者は盗み取る、というかたちで伝わっていくものである。…料理人は気が荒いのが多いから「こら！」「間ぬけ！」「馬鹿野郎！」「こん畜生！」と怒声、罵声が飛ぶのは普通のことだし、…これをすぐ野蛮だとか、封建的だとかいって排斥するのは、生産の現場を知らない者のすることであろう。

料理は時間が物を言う。煮るのも焼くのも、瞬間の勝負である。一秒の油断で、煮えすぎたり、焼きすぎたりすれば、食うことができなくなってしまうし、早すぎれば、これまた食えなくなってしまう。その微妙な瞬間をとらえそこなった者には「馬鹿！」「のろま！」としかいう言葉がないので、なまじっかな手心や気休めは無用である。…荒い言葉や拳固が…愛情の表現とさえ言っていい場合もすくなくない。

…篤蔵は子どものころからじっとしていることが大きらいで、本を読んだり、字を書いたりするのは、人生最大の業苦としか思えなかったが、このごろは殊勝にも、本を読む習慣がついた。というのは、料理の道を本当に究めるには、親方や兄弟子たちから実地で教わるだけでは駄目で、やはり書物によって理論を学んだり、経験の不足を補ったりしなければならないと気がついたからである。…世界で最高の料理はフランス料理…篤蔵はフランス語の勉強をはじめた。…

(『天皇の料理番・上巻』より抜粋)

「一流を目指す」姿勢はどの世界にも共通するものだと感じます。小説なので、様々な話材も含まれていますが、**この作品の底辺を流れるメッセージ性は、何かを教えてくれる**ものと思います。

ぜひ上下巻セットで読んでみてください。

山梨県立甲府南高等学校
進　路　指　導　部

URL　http://www.kofuminami-h.ed.jp
E-mail　shinro@kofuminami-h.ed.jp